

矢崎科技  
振興財団

## 今年度の研究助成対象を発表



## 稲垣横浜国立大准教授ら15人

矢崎科学技術振興記念財団（東京都港区、尾崎護理事長）は9日、2016年度の研究助成対象を発表する。対象となる奨励研究助成の10人には100万円を助成する。

財団指定のテーマ「扱いにくい熱を交換、輸送、貯蔵して有効に活用する技術」に沿った研究が対象の「特定研究助成（助成金1000万円）」には「真空チノギャップを用いた常温熱電子発電・冷却デバイス」を研究する土屋智由京大准教授が選ばれた。助成金受領者を代表し、

稲垣准教授は「（助成金は）励みになる。これからも頑張りたい」と謝辞を述べた。

同財団は矢崎総業グループの創業40周年記念事業として1982年設立。助成は83年に始まり、今回で34回目となった。